

令和8年度 山北町立小中学校体育館空調設備整備工事受注者審査委員会

結果概要

◆主旨

学校施設環境改善交付金を活用し、山北町立川村小学校及び山北町立山北中学校それぞれの体育館に空調設備を整備するにあたり、教育活動への影響を抑制しつつ、速やかに整備するために設計・施工一括発注方式による整備を行う公募型プロポーザルを実施し、受注者を選定することとしました。

◆スケジュール

次のとおり設定、進行しました。

審査会の実施（評価基準の確認）	令和8年4月 1日
公募開始	令和8年4月 2日
参加申込書の提出期限	令和8年4月10日
質問受付の期限	令和8年4月16日
提案書・見積書の提出期限	令和8年4月17日
審査会の実施（提案者説明）	令和8年4月22日

◆審査

審査会については、山北町立小中学校体育館空調設備整備工事受注者審査委員会を設置し、山北町教育委員会教育長を委員長とした6名の審査員で構成した。審査員が別に定める評価基準に基づき、提案者の提案内容をひとり90点満点×6名で540点満点としました。

なお、参加申込者が1者であっても審査会を行うこととし、採点合計が満点に対して5割を超えた場合は、優先交渉権者として選定することとしました。

◆参加申込

1者 京葉ガスエナジーソリューション株式会社（千葉県市川市鬼高4丁目3番5号）

◆審査会（提案者プレゼンテーション及び優先交渉権者の決定）

提案内容として、

- 1 見積額
- 2 学校体育館へのGHP空調の設置による特に夏季における安全・安心な教育活動環境の整備
- 3 学校活動に配慮した工事計画
- 4 同一年度、同一敷地内で予定されている工事に配慮した工事計画
- 5 災害時の学校体育館における避難所運用を想定したGHP空調の効果的な運用方策
- 6 ランニングコストの見込み

の6つを柱として提案していただき、これに対し、審査員が評価基準に沿って、それぞれの評価点を合計し、最も評価点が高い提案者を優先交渉権者とする事としました。

なお、前述のとおり、提案者は1者でしたので、評価点の合計が270点に達するか否かという観

点に立ち、優先交渉権者を選定することとなりました。

提案書については、別添のとおりです。

◆見積額

145,400,000 円（税抜）

◆審査結果

審査員6名が全員出席のうえ、提案者説明の後、質疑応答が行われました。

Q 断熱対策として、既存施設・設備も含めた提案はありますか。

A 設置してみないと分からない部分もありますが、断熱対策を施さなくても、設置の効果を感じられることを見込んでいます。

Q ガスのバルクタンクは、体育館空調用と給食調理用とで共用にすることは可能でしょうか。

A 技術的には可能ですが、日常的な用途と、必要な時だけの用途とでは棲み分けをした方がよいかと思われます。

Q 近隣に拠点はあるのでしょうか。

A 事業所としてはありません。ただし、南足柄市でも他の事業で実績がありますし、千葉県が拠点と感じさせないような、スムーズな対応に努めます。

Q メンテナンスについて教えてください。

A 例えるなら、GHPはガスを動力とした自動車のエンジンみたいなものです。エンジンを動かすのに、劣化したオイルの交換が必要になります。費用としては、年間およそ60万円で積算しています

Q 耐用年数はどれほどでしょうか。

A 13年としています。使用状況にもよりますが、毎日使用など、よほどハードに使用しなければ、少なくとも10年は保つものと想定しています。

Q 課金システムを後付けで構築するとして、事例はありますか。

A 利用者にプリペイドカードをご購入いただき、課金する方式が実績としてあります。

Q 冷房の効果を感じるまでは時間が掛かるのでしょうか。

A 空間が広いので、すぐには温度が下がりません。プレ運転をしていただくことになるかと思っています。

Q ガス供給の流れを教えてください。

A 地域のガス供給会社が、バルクタンクに設置するセンサーによって内容量を把握し、半分を下回った段階で供給に来る、というのが通例です。一般家庭のガスボンベと手法は同じです。

以上で質疑応答を終え、審査が行われました。

直ちに採点を行い、540点中、280点を得た「京葉ガスエナジーソリューション株式会社」が、令和8年度山北町立小中学校体育館空調設備整備工事の受注にかかる優先交渉権者に決定し、審査会を終了しました。